

# にせんにし 2000 誌

第35号  
 発行(一社)鹿児島県建築協会  
 青年部会  
 鹿児島市城山町2-13  
 TEL(099)224-5220



青年部会長  
木落孝作

部長として二年目に突入しましたが、暦も七月に入

り早いもので今年も折り返し地点であります。会員の皆様におかれましては日頃より当部会の活動にご理解ご協力いただきましてありがとうございます。有意義な事業運営に努めて参りますのでよろしくお願い致します。

さて、我々の周りを取り巻く状況は新年度に入り少し落ち着いてきています。人手不足の問題を抱えている状況でありますが、以前人件費や資材の高騰、人手不足の問題を抱えている状況であります。とりわけ人手不足は深刻な問題になっており技術者、職人の高齢化や若年層不足など日本が抱えている問題とリンクしております。県内のハローワークでの新卒者の有効求人倍率も高く就職内定率も数年前に比べれば高い水準で大変喜ばしい事なのですが、残念なことに県外に就職

してそのまま地元に戻らないケースが増えているようで、このままでは鹿児島

の建設産業がなりました。たまたまなくってしまいます。そこで当部会ではとりわけ建築施工の魅力を発進して地元の建設会社に就職していただきたいと考えております。その活動といたしまして一昨年より学生との座談会を開催いたしております。おかげさまで親会、行政の反響もよく、なによりも参加していただいた学生さん進路指導の先生方のアンケートに非常にありがたいお言葉をいただきました。その期待に応えるべく今年度は複数校に訪問して座談会を開催する予定であります。座談会では建築の魅力や現状を伝えるとともに学生さんからの疑問、質問に対応したいと考えておりますので会員の皆様をはじめご協力の程、よろしくお願い致します。

最後になりますが、今年度も当部会は青年部らしいフットワークをいかにして研修会などさまざまな事業にまい進していく所存ですので建設業界を

盛り上げられるよう一致団結して頑張っていきましょう！

## 総務・IT委員会



総務・IT委員長  
前田 忠倫

今年度も継続して、建築協会青年部会総務・IT

委員長を仰せつかっております。前田組・前田と申します。どうぞ宜しくお願い致します。四月一七日に開催しました定時総会では多数ご出席頂きましてありがとうございます。

さて、総務・IT委員会では、例年通りではあります。総会や懇親会の運営やレクレーションの開催等、青年部会の円滑な運営ができるよう活動して参ります。また、会報2000誌の発行や会員手帳の変更等、遅れや漏れのないよう努力して参ります。

そして、いよいよ来年度、建築協会青年部会は二〇周年を迎えます。当日の不行き届き等がないよう、しっかりと準備を進めて行きたいと思っております。

本年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

## 会員研修委員会



会員研修委員長  
伊藤 誠

青年部会の皆様、いつも会員研修委員会の事業にご

協力いただき、ありがとうございます。会員研修委員会では、今年度も「経営者講習会」を企画しております。今回は、建築業に特化した経営コンサルティングを行っている方を講師に招待し、決算書の読み方に関して各事業所の長所と短所を見分けるポイント等を解説していただくと思っております。貸借対照表が公表されている現況で、「どの部分が事業所の特徴として判断されているのか？」を知る機会になればと考えております。

また、経営者講習会と同日に、意見交換会の開催を予定しております。現会員はもちろん、青年部会OBの方々、会員拡大事業とリンクした入会候補者の方々にもご参加を呼び掛け、県内各地の建築業の現状について、情報の共有を図る場をご用意できればと考えております。

そして、十一月には三県合同懇談会が宮崎で開催される予定となっております。

ます。来年度は鹿児島での開催となりますので、PRのために多数の会員の皆様のご参加をお願い申し上げます。今年度も会員研修委員会のメンバーと共に、会員の皆様にとって有意義な時間となる事業を成し遂げる所存でございます。今後共、皆様方のご協力をよろしくお願い申し上げます。

**活動委員会**



活動委員長  
重留巧治

今年度の委員会として活動をはじめ早くも四ヶ月が経とうとしています。活動委員長として二年目ということもあり事業の取り組み方や目標がようやく解ってきたところでございます。なにぶん、自分ばかり動き出しが遅いので、委員会の方々にはご迷惑をおかけしております。さて、今年度の活動委員会の事業目的は昨年に引き続き、建築業界の活性化及び地域社会に対する貢献と考えており、その事業内容として青少年育成事業「学生との座談会」とボランテ

ィア活動を計画しております。

「学生との座談会」についてですが、より多くの学生と話し合う機会を設けたいという思いと同事業でのアンケート調査からの要望により、それぞれの高校や専門学校へ我々青年部会が訪問する形で「学生との座談会」を行う運びとなりました。今年度は学校側のご協力もあり四校の学校へ訪問することが決定しております。少しでも多くの学生と、現在そして将来の建築業界について話し合い、就職としての興味・意識を持つてもらうことで、県内企業への就職に結びついてくれれば、若手の育成と業界の活性化へとつながると考えております。

建築協会青年部会としてできることは限られていますが、少しでも建築業界にそして地域社会へ貢献できる活動を行えるよう委員会全員で協議を行ってまいりますので、皆様方のご協力をどうぞよろしくお願い致します。

**私も一言**



総務・IT委員会  
久永徹郎

暑い時期がやってきました。暑い中で仕事をしていますと、夕方には疲れもピークに達し、色んなことが疎かになりますよね。その上、現場や社内での加工が忙しくなってくると、ゴミや工具が散乱しがちです。そのような状況を改善しようと「整理・整頓を！」とよく言いますよね。私も社内のメンバーにそのようなことを言いますが、実際のところあまり片付きません。これは、伝達方法として用語の統一が図られていないからだと思います。「整理・整頓」は一般的によく使用される言葉なので、「言えば簡単に伝わる」と思ってしまうのですが、実はその言葉を共通の認識にすることが大事なのだそうです。

例えば、「整理」とは、「(工具などを)使用したら、元の場所に戻すこと」、「整頓」とは、「正しい置き方で置くこと」のように、統一の用語に置き換えると認識が同じになります。

ただし、統一の言葉を間違えると認

識がズレてしまいます。例えば「営業」。「『営業』の仕事は？」と考え、「売上を上げること」統一としてしまうと、売れなかった日は仕事をしなかったことになってしまいます。ですが「お客様に過不足なく説明をすること」とすれば、営業マンと共通の認識が図られます。

皆さんもぜひ、社内で「用語の統一」を図ってみてはいかがでしょうか？



会員研修委員会  
近藤慶太郎

今年度より青年部会に入会いたしました(株)田川組の

近藤慶太郎です。

これまで青年部会の活動としては「かごしま住まいと建築展」でのブラス出展を行っている事ぐらいいしか知らなかったのですが、入会してみると三委員会がそれぞれ活動を行い、青年部会を活性化させる取り組みを行っていることを知りました。

私も配属された会員研修委員会で会員のためはもちろん自分自身のためになるよう取り組んでいきたいと思っております。

青年部会だからこそ話し合える、成長しあえる機会と捉え、横の繋がりを作っていききたいと思えます。わからないことばかりですが、今後ともよろしくお願い致します。



活動委員会  
内村明高

鹿児島に  
Uターンし  
てもうすぐ  
二年になる

うとしていきます。青年部会で知り合った方々を含め、色々なつながりが周りに出来てきたことを楽しめておりませんが、世間の狭い鹿児島、行くイベントや勉強会等で同じ人とばかり顔を合わせることもしばしば出てきました。

そこで、なるべく遠くの人や、初めて会う人、新しく知る内容の多い機会に一定の時間を投資して、顔を出すよう心掛けています。テーマとしては、物流やeコマース、教育などなど、興味を持ってしまったら参加せずにはられない性分です。

建設関係でも、先日福岡で開催された、公共事業のフォーラムに参加し、南は宮崎、北は北海道と全国の土木工

事の事例発表を聴講しました。当社は民間建築中心ですので、発注者や工事内容があまり聞きなれないものも多くありました。要求仕様は当然守りながら、住民・行政の満足度を高める取り組みを行い、高い工事成績を獲得しており、今後参考にしたいと思えることばかりでした。

これらの活動が巡り巡って会社のためになると信じ、私自身は大真面目に取り組んでいるつもりですが、家族には「また遊びに行つて」と思われるのが玉に瑕で、お土産代が馬鹿になりません(笑)。でも、きっとこれから止められないのだろうなと思えます。

新入会員紹介



山下和紀  
山理建設  
総務・IT委員会

山口秀典  
ヤマグチ協  
活動委員会

川原大地  
マル川建設協  
会員研修委員会

総会・懇親会スナップ



青年部会員募集

青年部会では会員を募集しています。  
詳細については、建築協会事務局まで  
お問い合わせください。